

高山ダム管理開始50周年記念 写真集

独立行政法人水資源機構
木津川ダム総合管理所 高山ダム管理所

50年のあゆみ

高山ダムは、昭和28年9月台風13号出水による甚大な被害を契機に策定された淀川改修基本計画に基づき建設されたダムの一つで、自然豊かでお茶とシイタケの産地として知られ、現在では京都府内で唯一の村である「南山城村」に位置しています。また、その貯水池（月ヶ瀬湖）は、三重県、奈良県、京都府の府県にまたがり、貯水池周辺のオープンスペースには、地域及び近隣府県から多くの人々が訪れ、来訪者の憩いの場となっています。

- 昭和40年6月 本体掘削及び仮設備着手
- 昭和41年10月 ダム本体コンクリート打設開始
- 昭和43年11月 本湛水を開始
- 昭和44年8月 高山ダム管理開始
- 昭和61年から平成7年 高山ダム周辺環境整備事業実施
- 平成10年から平成16年 高山ダム貯水池水質保全事業実施
- 平成15年2月 高山ダム水源地域ビジョン策定
- 令和元年8月 高山ダム管理開始50周年

ダムができる前の集落



ダムができる前の名張川

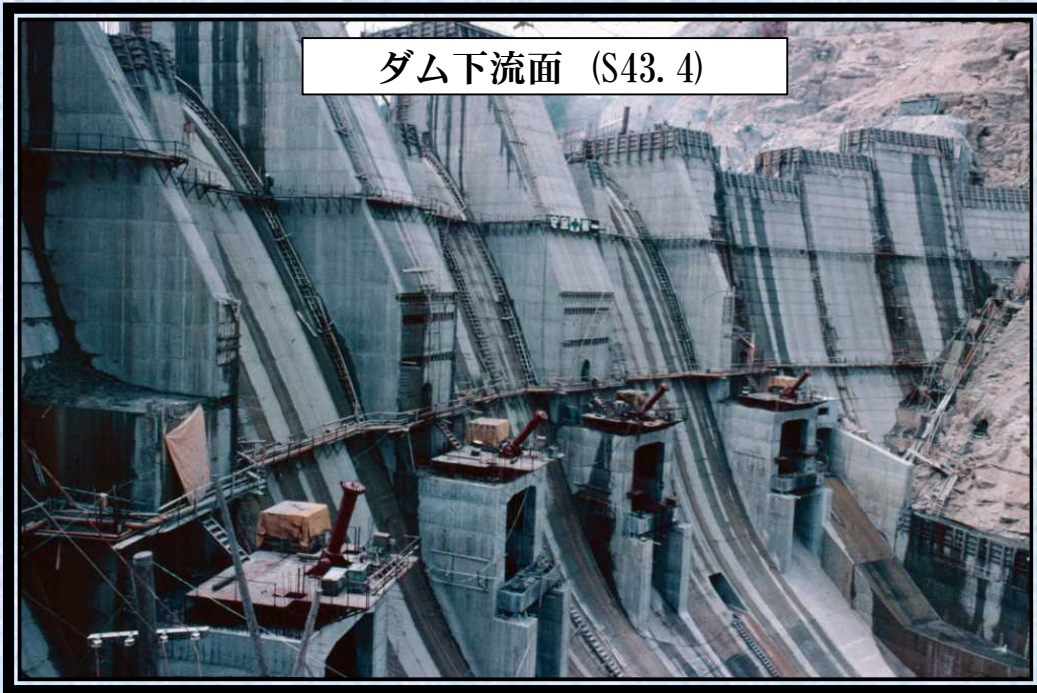


ダム建設現場航空写真



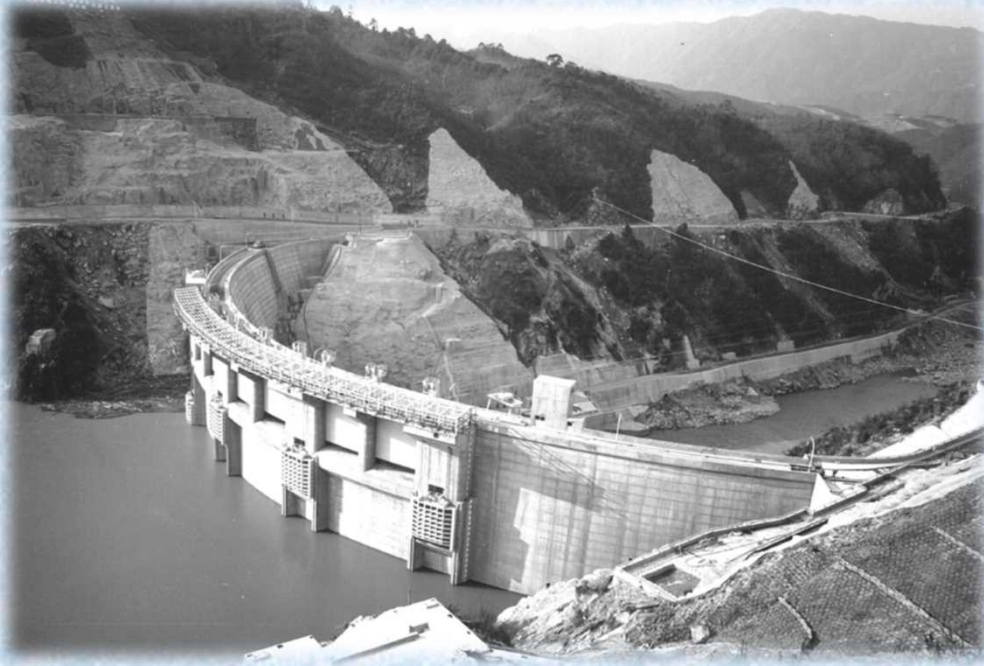
昭和41年9月

ダム建設工事の様子



ダム完成と諸元

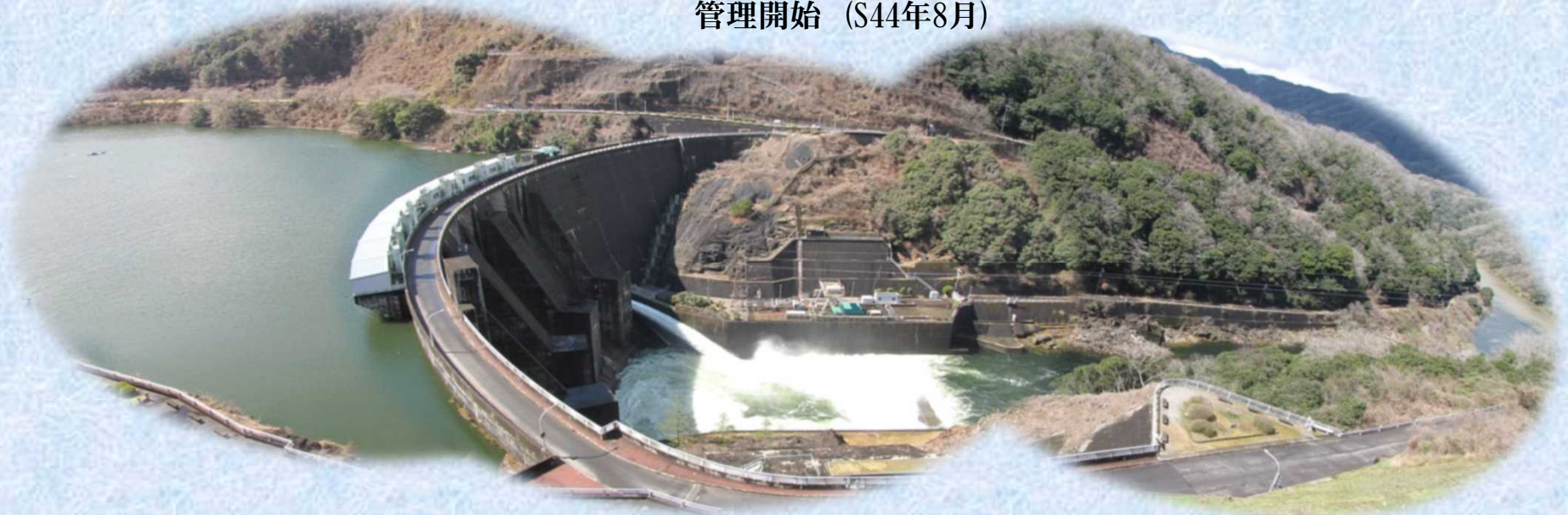
試験湛水中のダム (S43~S44)



高山ダム諸元

形式	: アーチ重力式コンクリートダム
堤高	: 67.0m
堤頂長	: 208.7m
堤体積	: 213,900m ³
流域面積	: 615.0km ²
総貯水容量	: 56,800,000m ³

管理開始 (S44年8月)



ダム完成後の景色

春



左岸グランドゴルフ場

夏



高山橋

秋



月ヶ瀬橋

冬



ダム右岸

上空から見た高山ダム貯水池

網場上流付近



八幡橋付近



月ヶ瀬橋付近



高山橋付近



大川橋付近



船から見た高山ダム貯水池

高山ダム貯水池平面図



大川橋付近



高山橋付近



高山ダム付近



八幡橋付近



月ヶ瀬橋付近



高山ダム設備（放流設備）



非常用洪水吐き設備



常用洪水吐き設備



高山ダムの設備（放流設備他）

利水放流設備



インクラ設備と巡視船



高山ダム設備（監査廊）

B1 監査廊



監査廊階段



グラウトトンネル



遊離石灰(50年の堆積)

B2 監査廊



高山ダムの設備（操作室）



管理当初の操作室



現在の操作室



高山ダムの設備（電気通信設備）

通信設備



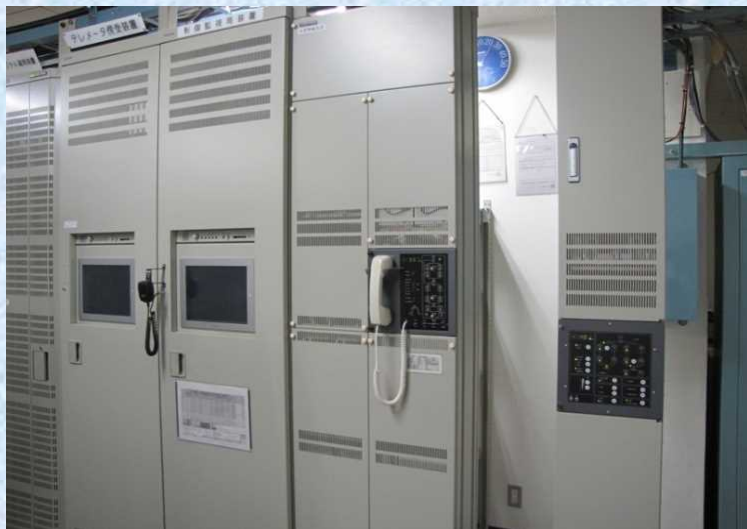
水位観測所



放流警報所



通信用無線設備



予備発電設備



ダムの目的（洪水調節）

洪水調節後の貯水池



平成25年9月の台風18号では、大雨により大量に流れ込む水を、ダムに貯め込み下流の被害軽減に寄与しました。

洪水調節直前の貯水池



ゲート放流中

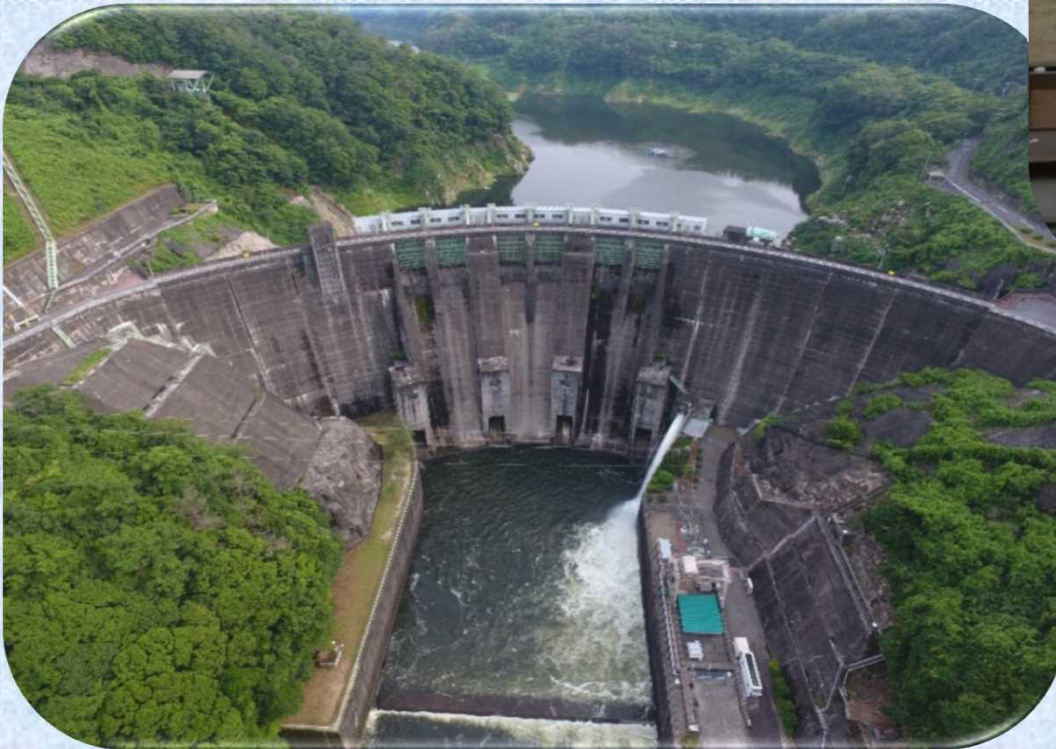


ダムの目的（利水補給）

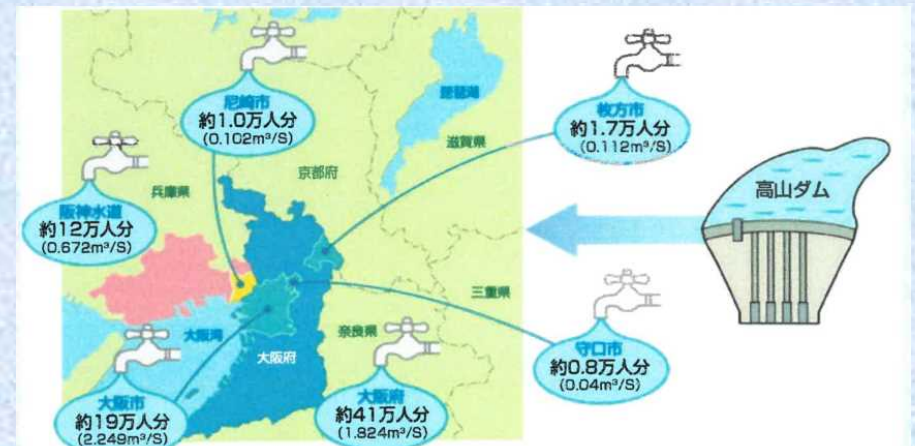
浄水場（大阪広域水道企業団村野浄水場）

ダムに貯められた水を利用して、水道用水として京阪神地区に水を供給します。

利水放流設備からの放流



高山ダムからの利水補給先



()は、各事業者の高山ダム水利権量を示し、人数は、高山ダム水利権量／計画日最大給水量から算出している

ダムの目的（かんがい用水・河川環境の維持）

川の水が少ないときには、川の生き物が生息できるように、また農業用に水の取水ができるようダムから水を補給します。



川の水を利用して
田植えをします



木津川での
鮎釣り風景



ダムの目的（発電）

高山ダムでは、関西電力が建設した「高山ダム発電所」において、ダムに貯められた水を利用して最大6000kWの水力発電をおこなっています。

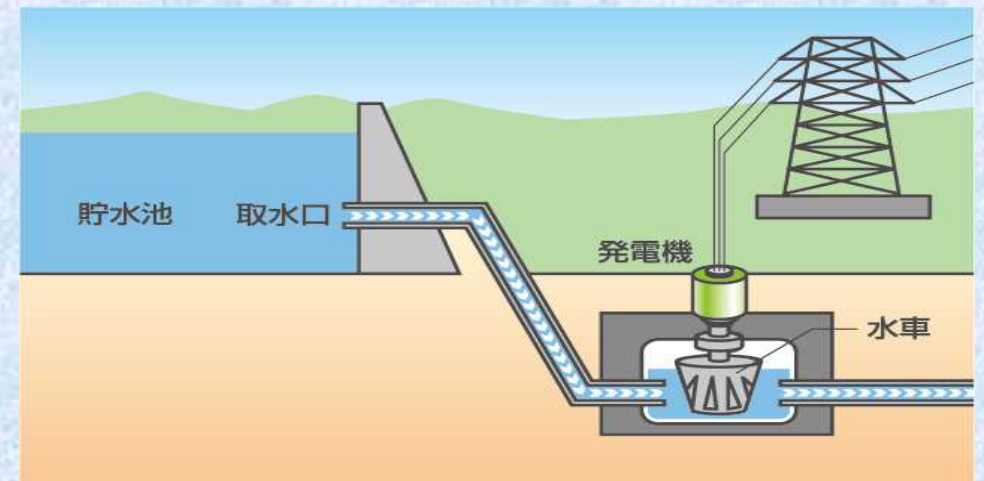
高山発電所送電設備



高山発電所全景



高山発電所 模式図



ダム完成後の新たな事業

(高山ダム周辺環境整備事業)

月ヶ瀬見晴らし東屋



ダム湖の出現により、水と緑のオープンスペースが創造され、人工の貯水池が自然環境にとけこんだ新しい環境で、レクリエーションの場を提供する周辺環境整備事業が実施されました。

ダム左岸グランドゴルフ場



大川カントリーパーク



ダム完成後の新たな事業

(高山ダム貯水池水質保全事業)

ダム湖の水質悪化により、毎年のようにアオコなど藻類が発生したため、水質保全対策事業として曝気循環設備・分画フェンス・噴水が設置されました。

噴水設備



浅層循環設備



分画フェンス



高山ダム周辺のイベント (むら生き生きまつり)

まつり会場風景



高山ダム展示ブース



湖面巡視体験



ダム堤体内見学



高山ダム周辺のイベント

(駅伝大会・マラソン大会)

月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会

山城地方中学校駅伝競走大会



南山城村 高山ダム駅伝



高山ダム周辺のイベント (レガッタ競技会)

奈良市民体育大会 レガッタ競技会



月ヶ瀬梅溪 (梅まつり)



50周年記念絵画コンクール作品

(相楽東部広域連合立小学生の児童、中学生の生徒)

最優秀賞

優秀賞

低学年の部



南山城小2年生



南山城小1年生



笠置小2年生



和束小2年生



南山城小2年生

高学年の部



和束小5年生



笠置小5年生



笠置小5年生



和束小5年生

中学生の部



和束中3年生



和束中1年生



和束中1年生

特別賞



南山城小4年生一同による合作

50周年記念絵画コンクール作品

(相楽東部広域連合立小学生の児童、中学生の生徒)

応募作品



高山ダムカレーと絵はがき

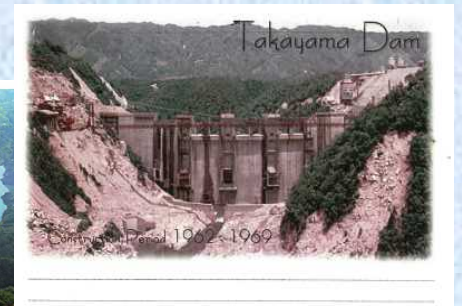
高山ダムをモチーフにしたダムカレーや、高山ダムの風景写真を使った絵はがきが販売されています。

ルーに浮かぶ温泉卵は、湖面に映える月、唐揚げは管理所、梅ソースは放流の様子を表現しています。

高山ダムの四季風景や建設時代の写真を題材とした絵はがきです。



梅の郷 月ヶ瀬温泉



南山城村 自然の家

高山ダム周辺の桜



メッセージ

「先人に感謝し、地域と共に、流域のために」

高山ダムは管理開始から令和元年8月をもって50年という節目を迎えることができました。淀川水系における初期のダム開発事業の一つとして、水源地域の方々のご理解と、数多の先人の努力により、京都、奈良、三重の3つの府県に広がる貯水池（月ヶ瀬湖）が出現して以来、様々な実績や経験が管理の歴史に刻まれてまいりました。例えば、50年間の管理業務の中で、17回の洪水調節と数多の防災操作を行いダム下流河川での洪水被害の軽減と防止に努めると共に、阪神地域への水道用水の供給（累計：667百万m³）、ダム下流河川の良い河川環境を確保するための補給（累計：1,032百万m³）、更には関西電力株式会社高山ダム発電所による発電（累計：1,381千MWh）といった実績を通じて流域の安定と発展に寄与してきたと考えています。また、ダム貯水池水質保全事業やダム周辺環境整備事業等により、ダム湖やダム湖周辺の水環境の充実が進められ、今やダムと月ヶ瀬湖周辺は多くの緑に囲まれる美しい周辺環境が創造されています。このような周辺環境の中で駅伝大会やレガッタ競技等のイベントが行われ、水源地域の活性化のための観光資源として、また流域の上下流交流の場にもなっています。

高山ダム以降、現在建設中の川上ダムに至るまで木津川流域には多くのダムが整備されてきました。異常気象が叫ばれる昨今、淀川流域の治水・利水に対する安全・安心やダムの効果の持続性確保に対し、これらダム群がどのように連携していくのか等、新たな実績や経験の場が待ち受けているでしょう。管理開始50周年の節目にいる私たちとしては、50年後の高山ダムも適切に管理されていることを願いつつ、今後も、これまでの経験を生かし、地域の方々、利水者及び関係機関のご理解とご協力を頂き、将来に向け引き続きダムの効果を十分発揮し、安全で豊かな社会づくりのために貢献してまいりたいと思っています。

令和元年8月

独立行政法人水資源機構
木津川ダム総合管理所一同